

The 21st KKCNN Symposium on Civil Engineering

第 21 回土木工学に関する KKCNN シンポジウム

- ・ 代表者： Professor Quek Ser Tong (National University of Singapore, NUS)
(シンガポール国立大学)

NUS Coordinator

- ・ 日時： 2008年10月27日～29日
- ・ 場所： Furama Riverfront Hotel, Singapore
フラマ・リバーフロントホテル, シンガポール
- ・ 主催： National University of Singapore
シンガポール国立大学
- ・ 共催： GCOE Program of Kyoto University (Global Centre for Education and Research on Human Security Engineering for Asian Megacities), Keppel FELS Limited, Singapore Tourism Board, Lee Foundation, Jurong Engineering Limited
京都大学GCOEプログラム, Keppel FELS, シンガポール観光協会, Lee 財団, Jurong エンジニアリング
- ・ 主な参加者

京都大学 (Kyoto University, KU), 韓国高等科学技術研究所 (Korean Advanced Institute of Science and Technology, KAIST), チュラロンコン大学 (Chulalongkorn University, CU), 国立台湾大学 (National Taiwan University, NTU), シンガポール国立大学 (National University of Singapore, NUS) に所属する土木工学分野の教員, 学生ならびに関係者

- ・ シンポジウムの目的概要

土木工学に関する研究情報交換

- ・ シンポジウムの様子, 得られた成果

初日開会セッションに続き, 松本 勝京都大学名誉教授による基調講演が行われ, 続いて構造工学, 土質・岩盤工学分野の研究発表が3つの会場で平行セッション形式により実施され, いずれも熱心な研究発表と活発な質疑, 意見交換がなされた. 本シンポジウムの参加者は上記5機関より合計134名(内, 教員47名, 学生87名)であり, 京都大学からは28名(内, 教員13名, 学生15名)が参加した. 夕方, セッション終了後レセプション, バンケットが連日行われ, 各国の教員, 学生が入り交じったテーブルで遅くまで議論と交歓が続いた. とくに2日目のバンケットの席上, 2日間の研究発表の中から学生の優秀発表者に対する表彰があり, 各機関より1名ずつ計5名が受賞した. 最終日はシンガポールの港湾地区を訪問し, 埠頭建設の現場を視察するとともに, シンガポールフ

ライヤーと名付けられた大観覧車に搭乗し、市街の高層建物群や町並みを俯瞰するとともに、遠くマラッカ海峡を展望した。